

夫・車谷長吉 急逝後の作品を含む最新詩集『さくら さくらん』（デコ）刊行記念 詩人・高橋順子×装幀家・菊地敦己トークイベント

「表紙から順子さんの詩は始っています」
直木賞作家である夫・車谷長吉の死から4年半…。詩人・高橋順子 5年ぶりの最新詩集『さくら さくらん』には、亡夫への溢れる想いを綴った詩を多数含む、珠玉の詩36編が収録されています。

今回のトークのお相手は、装幀を担当した菊地敦己氏。
菊地氏は、実は、順子さんの詩が大好き。『あさって歯医者さんに行こう』（2009年・デコ刊行）でも装幀を手がけ、ジャケット買いが続出！ それまで詩に触れる機会がなかった人でも、つい手に取りたくなる新しい詩集の装幀を生み出しました。

今回も注目のデザインです！
三角形の中に赤いまるが2つ…。いったい、なぜ？ どのようにして、この表紙カバーは生まれたのでしょうか？
＜珠玉の詩×珠玉の装幀＞ ＜ポエム×デザイン＞
その豊饒な相乗効果について、順子さんご本人による詩の朗読をまじえながら、語っていただきます。

※トークのあとにサイン会を行います。



『さくら さくらん』
高橋順子
デコ
1,870円(税込)

商品を購入する

- Amazon
- HonyaClub
- HMV&BOOKS
- honto

●プロフィール

高橋順子（たかはし・じゅんこ）

詩人。1944年千葉県生まれ。東京大学仏文卒。出版社に勤務しながら第一詩集『海まで』を刊行。1993年に作家の車谷長吉と結婚。著書に詩集『時の雨』（読売文学賞）、『お遍路』、『あさって歯医者さんに行こう』、『海へ』（藤村記念歷程賞、三好達治賞）、エッセイ集『連句のたのしみ』『一茶の連句』『うたはめぐる』『水のなまえ』『星のなまえ』『夫・車谷長吉』（講談社エッセイ賞）、佐藤秀明写真による『雨の名前』『風の名前』『花の名前』『月の名前』『恋の名前』、小説集『緑の石と猫』『海へびのぬけがら』など。

菊地敦己（きくち・あつき）

アートディレクター、グラフィックデザイナー。1974年東京生まれ。武蔵野美術大学彫刻学科中退。大学在学中よりデザインの仕事を始める。ブルーマークを経て、2011年に株式会社菊地敦己事務所設立。主な仕事に「青森県立美術館」VI計画、「大宮前体育館」サイン計画、「ミナ ペルホネン」や「サリー・スコット」のブランド計画、『装苑』などの雑誌のアートディレクションなど。主な受賞に講談社出版文化賞ブックデザイン賞、日本パッケージデザイン大賞、原弘賞、東京ADC賞、JAGDA新人賞など。

開催日時	2019年11月30日（土）18:30開場19：00スタート
会場	武蔵野商工会議所第3第4合同会議室
参加方法	ブックスルーエー階カウンターないしはお電話にてお申し込みください。0422（22）5677までお願いいたします。 ご来場前に参加費1000円をブックスルーエー階カウンターにてお支払いいただきます。その際のレシートが入場券となります。 トーク終了後のサイン会ご参加の方は、ブックスルーエで『さくら さくらん』を購入のうえご持参ください。
入場料	1,000円
定員	30名
問い合わせ先	0422(22)5677 ブックスルーエ担当花本